

平成30年度 保健体育科 保健分野、体育理論 年間指導計画 第三学年（男子）

担当 長谷川 大祐

学期		月	単元名	時数	学習内容	評価の観点と評価規準					
						評価資料・評価方法等					
						関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解			
1学期	4～7		現代生活におけるスポーツの文化的意義	1	○スポーツは文化的な生活を営み、よりよく生きていくために重要であることを理解する。	○文化としてのスポーツの意義について、課題を解決するための活動などを通して、学習に自主的に取り組むことができる。	○文化としてのスポーツの意義について、学習した知識を活用したり、応用したりすることができる。	○文化としてのスポーツの意義について理解している。			
			国際的なスポーツ大会とその役割	1	○オリンピックや国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解する。						
			人々を結び付けるスポーツ	1	○スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていることを理解する。						
2学期	9～12		健康の成り立ちと病気の発生要因	1	○健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解する。 ○疾病は、主体の要因と環境の要因がかかり合って発生することを理解する。	○健康な生活と疾病の予防について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むことができる。	○健康な生活と疾病の予防について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表すことができる。	○健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活行動・生活習慣と健康、喫煙・飲酒、薬物乱用と健康、感染症の予防、保健・医療機関や医薬品の有効利用、個人の健康を守る社会の取組について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかわりを理解している。			
			食生活と健康	1	○健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解する。 ○食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは、生活習慣病などの要因になることを理解する。						
			運動と健康	1							
			休養・睡眠と健康	1							
			生活習慣病とその予防	1							
			喫煙の害と健康	1	○喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因になることを理解する。 ○これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があることを理解する。						
	飲酒の害と健康	1									
3学期	1～3		薬物乱用の害と健康	1	○感染症は、病原体が主な要因となって発生することを理解する。 ○感染症の多くは、発生源をなくすことと感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解する。 ○健康の保持増進や疾病の予防には、保健・医療機関を有効に利用することがあることを理解する。 ○医薬品は正しく使用することを理解する。						
			喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処	1							
			感染症の原因とその広がり方	2							
			感染症とその予防性感染症 / エイズ	2							
			保健・医療機関と医薬品の有効利用	1							
			個人の健康を守る社会の取り組み	1		○個人の健康は、健康を保持増進するための社会の取組と密接なかわりがあることを理解する。					
						評価資料・評価方法等					
						・学習活動の観察 ・提出物	・課題・小テスト ・学習活動の観察	・定期考査 ・小テスト			